

水土里情報活用ニュース・レター

第 141 号

2020/12

目 次

1. 施設機能診断におけるモバイル端末を活用した現地調査方法の検討事例について紹介します
(福島県) … 1
2. 現地調査用GIS：水土里モバイルJSシステムについて紹介します (千葉県) … 3
3. 水土里情報システムを活用した施設情報等の管理について紹介します (大阪府) … 5
4. QGISを用いた水土里情報の活用事例について紹介します (徳島県) … 7
5. 水土里情報を活用した中山間地域等直接支払業務について紹介します (鹿児島県) … 9

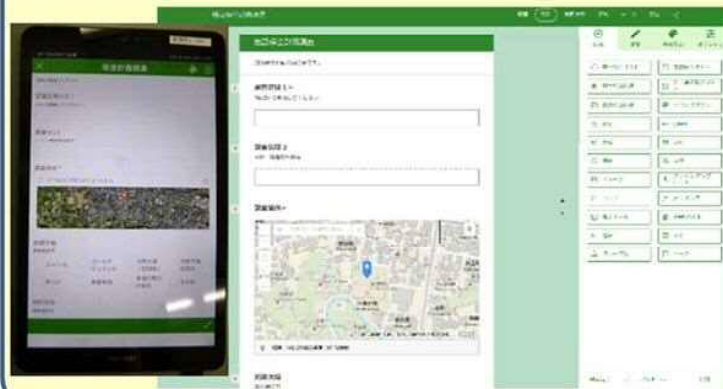
■お問い合わせ先 (全体)

農村振興局整備部設計課計画調整室 長期計画班 高橋、北條 (電話番号) 03-6744-2201

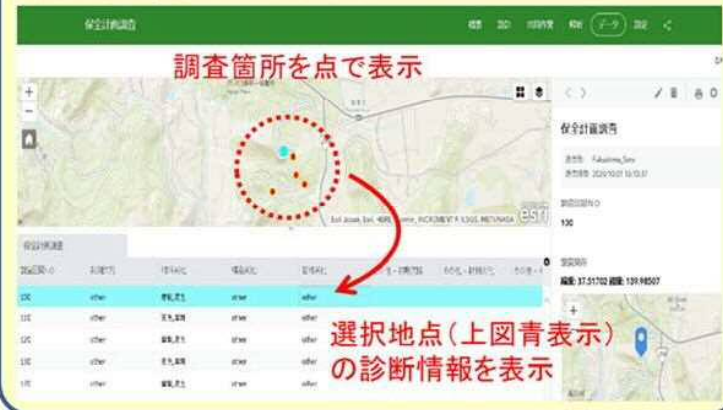
取組による効果

- ① タブレット端末により、診断結果と状況写真が一元管理できる。
- ② 紙図面やカメラ等の準備が不要で、身軽になり作業効率が向上した。
- ③ 本体システムに同期させることで、資料とりまとめ作業の効率化が期待される。

タブレット端末(左)とArcGIS上で作成した記録様式(右)



調査記録をArcGIS上にデータ化



タブレットでの現地調査

初期欠陥
複数選択可

ジャンカ コールドジョイント 内部欠陥(空洞等) 内部欠陥(空洞大)

砂スジ 表面腐蝕 非進行性ひび割れ その他

材料劣化
複数選択可

ひび割れ ひび割れ大(1.0mm以上) 剥落 錆計

エフロレックス 変色 摩耗 摩耗大(粗骨材剥離以上)

断面欠損 その他

構造劣化
複数選択可

せん断ひび割れ せん断ひび割れ大(1.0mm以上) たわみ 変形

振動(剛性の低下) その他

目地劣化
複数選択可

該当する変状等を選択し
現地で調査結果の整理
が可能

今後の活用予定

- ① 同様の現地調査での利用によって、機能診断に係る作業効率が向上。
- ② 実際に確認した場所と状況等が一元管理され、容易に検索・参照が可能となる。

GISシステムのバージョン情報

GISアプリ : ArcGIS Online
 タブレットアプリ : ArcGIS Online Survey123

■お問い合わせ先

福島県土地改良事業団体連合会 総務企画部 施設管理課 024-535-0315